

# 用水中Cs-137濃度 調査結果 概要

2024年1月21日

【資料】津島地区の水稻試験栽培及び今後の営農再開に向けた意見交換会

日本原子力研究開発機構  
廃炉環境国際共同研究センター  
環境モニタリンググループ

➤ 用水を津島の14地点で採水しました。(2023/6/26)

➤ 用水(未ろ過)中のCs-137濃度は、0.42 Bq/L以下でした。

(飲料水の摂取制限(10 Bq/L)、環境省による河川水モニタリング時の

検出下限値(1 Bq/L)を下回るレベル)

➤ ろ過した用水中のCs-137濃度※は、0.05 Bq/L以下でした

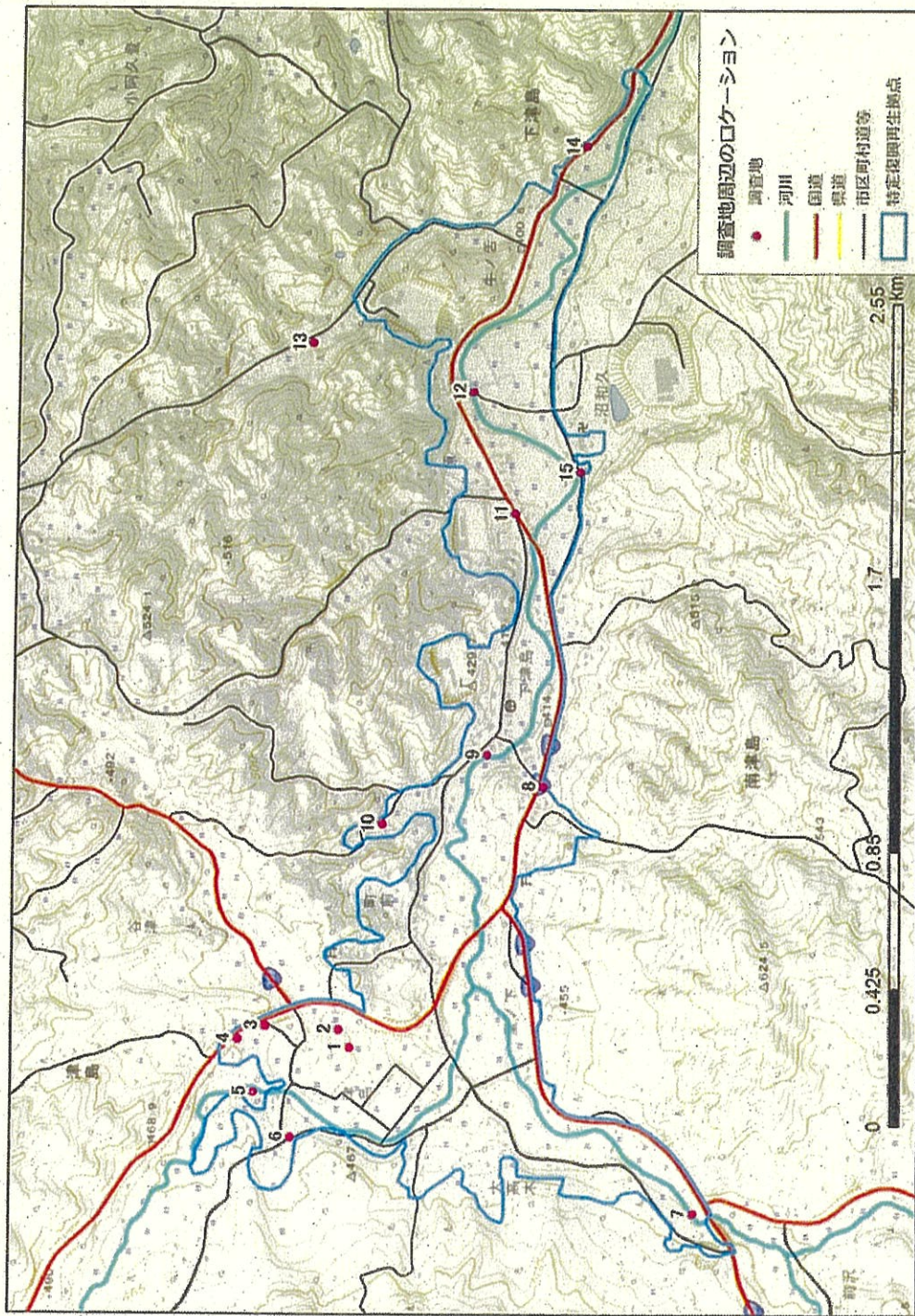
(※ 生物による吸収が可能な溶存態のCs-137濃度)

# 採水地点と用水中のCs-137濃度 (2023年6月26日時点)

- いずれも1Bq/L未満
- 検出されても大部分は懸濁態であり、溶存態の濃度は0.05Bq/L以下

地点	Cs-137濃度 (Bq/L)		不検出
	未ろ過	ろ過後	
1	0.15		不検出
2	不検出*		
3	0.23		0.05
4	未採取		
5~7	不検出		
8	0.10		不検出
9	不検出		
10	0.14		不検出
11	0.09		0.05
12	0.08		不検出
13	0.06		0.05
14	0.27		不検出
15	0.42		不検出

\*検出限界は0.03~0.05 Bq/L



【参考値】飲料水の摂取制限：10 Bq/L

環境省によるモニタリングの検出下限値（不検出とされるレベル）：1 Bq/L

# (参考) 請戸川 大垣ダム上流地点の河川水中のCs-137濃度

- 2014年（10年前）の時点で1Bq/L未満
- 現在は年間を通じて0.1 Bq/L未満  
（一般的には年間で季節変動あり、夏季に高い傾向）

